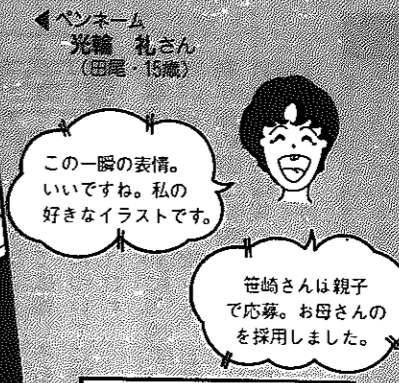


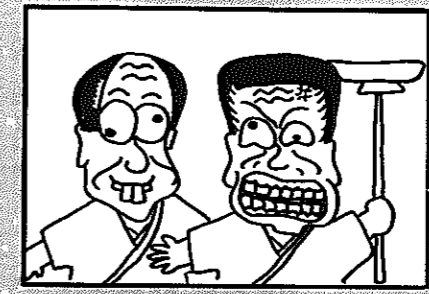
いふた CLUB

作品 待つてま〜す!

♥イラストは官製はがきに黒1色ではっきりと。鉛筆は濃い目のものを使ってください。
♥ペンネームを希望する人も住所・氏名・年齢は忘れずに。
♥締め切りは毎月15日とします。締め切り日を過ぎてから届いたものは、翌月分へ回します。
♥あて先は 〒950-12 白根市大字白根 白根市役所 企画調整課 広報広聴係 です。
♥採用分には粗品を差し上げます。どしどし応募してください。



▶笹崎節子さん(七軒・38歳)



平成元年度 除雪計画

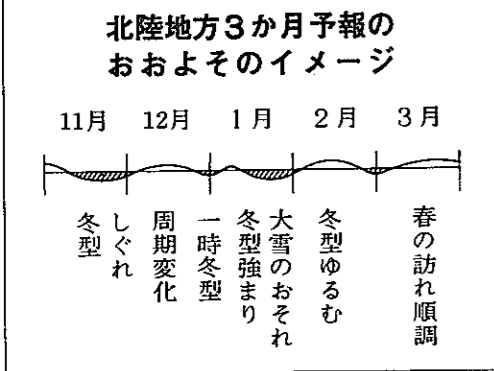
ロータリー除雪車を購入 市道の82・0%を除雪

一月ごろ 大雪のおそれ
雪の季節を迎えました。北陸地方三か月予報では、冬の訪れは早く、寒暖の変動が大きいとのこと。一月には大雪のおそれもあるという予報です。
市は雪害予防計画を立て、冬場の市民の足の確保と、生活道路の確保に努めることにしています。それによると、本年度市が除雪する市道の延長は二百六

十二・三キロほどで、全体の八二・〇%に当たります。またロータリー車を購入するなど、除雪車両の充実も図っています。
市道のほかに、国道は建設省が、県道は新潟土木事務所が除雪。歩道の除雪は国、県分を含めると、昨年よりも三・八キロほど多い二十六・五キロほどを実施します。

年末はし尿のくみ取りの申し込みが殺到します。早目に業者申し込みをしましょう。作業がスムーズにできるよう、くみ取り口付近の除雪をお忘れなく。
③消火栓付近の除雪にご協力を
冬期間、最も心配されるのは火災の発生です。消火栓付近の除雪など、消防水利の確保に努めましょう。
④除雪した道路に雪を出さない
除雪したばかりの道路に雪を投げ出す人がいます。車がスリップしたりたいへん危険です。玄関口をふさいだ雪は、玄関わきに積むなどのご協力を。

市民の皆さんの ご協力を



除雪作業を進めるに当たって市民の皆さんから特にご協力をお願いしなければならぬことが、いくつかあります。

①路上駐車、路上放置はしない
特に雪の降りはじめは、大したことではないだろうと、たかをくくりがちなもの。一台の車のためにおおぜいの人が迷惑します。気を付けましょう。
②ゴミ、し尿の収集にご協力を
雪のため、ゴミ収集車が通れない区域は、運行が可能なまままで自宅で保管してください。

除雪についての連絡・問い合わせ

☎373-2111 (493.494)

(平日 8:30~17:15)
(土曜日 8:30~12:15)

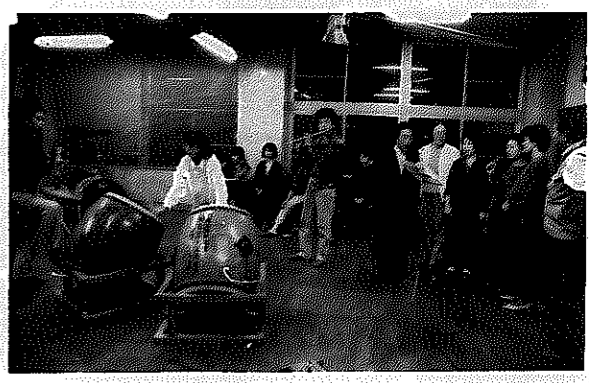
上記以外の時間帯は
☎373-2049
☎373-3932

グループ 紹介 30 白根甚句会

伝統芸能を 受け継ぎ20年

今年で創立二十周年を迎えるという白根甚句会。現在会員は五十五人を数えます。白根甚句同好会として発足し、三年前に現在の「白根甚句会」となりました。今年二十周年を記念して法被を新調。市民芸能祭など、さまざまなイベントに参加しました。

八月十六日に盆踊り大会を行ったのが好評で、九月に入ってから二十代の女性を中心に十二人の新会員が入会。九月、十月は新入会員のために太鼓などの特別練習を実施しました。公民館の研修室は笛と太鼓と白根甚句の歌声で、ここだけはまる



で祭りが来たかのよう。しかし、太鼓の指導をする石崎宣昭さんらの、ばちさばきを見つめる会員の目は真剣そのもの。休憩に入っても、熱心に打ち方を尋ねていました。
白根甚句をまったく知らない人でも仲間になれるのがこの会の良さ。仲間作りの中で伝統芸能を継承しようというグループの心意気を感じました。



紹介する人 保科盛広さん

十四歳の中学生から明治生まれの八十三歳まで、幅広い年代の会員が交流を深めています。これだけ層の厚い会にはほかにないのでは。最近若い会員が増えて、白根甚句の後継者が着実に育っていると思います。今、新会員を募集しています。仲間に入りたい人は保科盛広(葵町・☎373-3504)まで。

受章おめでとうございます

小笠原正男さんに藍綬褒章が



昭和二十六年、根岸村議会議員として当選以来、白根市議会議員などを経、現在県議会議員として活躍中の小笠原正男さん(山崎興野・六十五歳)に地方自治功勞として十一月三日、藍綬褒章が、また同日県政功勞により県知事表彰が贈られました。

狩谷松雄さんに藍綬褒章が



昭和四十三年五月から保護司として、また昭和五十七年から白根地区保護司会会長として活躍中の狩谷松雄さん(桜町一・七十一歳)に更生保護功勞として、十一月三日、藍綬褒章が贈られました。

星野忠雄さんに勲六等瑞宝章が



昭和九年に独立開業以来、仏壇や神社、仏閣の彫刻一筋に、卓越した技能を持ち、多くの功績を残してこられた星野忠雄さん(魚町四・七十五歳)に十一月三日、勲六等瑞宝章が贈られました。

鈴木三笠さんに厚生大臣表彰が



昭和三十六年から県クリーニング環境衛生同業組合理事、昭和五十二年から十年間同組合副理事長を勤められ、現在も理事として活躍中の鈴木三笠さん(魚町五・五十九歳)に厚生大臣表彰が贈られました。